

## 公開質問状の回答に対するコメント

子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会  
他 川辺川ダム建設に反対する 52 住民団体  
代表 中島 康

ダム建設に対して、これに賛成の立候補予定者がゼロであった事は「川づくり報告会」での圧倒的にダム反対の声が多かった事や過去 3 年の水害被災者の内わずか 2 名しかダムを望んでおらず、93%以上の人々がダムに反対である等など、すでに県民がダムによる治水を望んでいない事を立候補予定者がよく認識されている事への現われと高く評価します。

しかし、ダム建設反対(又は中止)と言われる4氏について反対(又は中止)への温度差が見られます。

**矢上氏**については現在に至るダム反対活動をしてこられたと言う実績があります。

又**鎌倉氏**の中止論は住民討論集会や利水事前協議に於いて中心的にダム問題に関わってきておられる通り、両氏のダム反対(中止)へのスタンスは揺るぎのないものと思われま

**北里氏**については「現行のダム建設計画に反対」という表現に若干の違和感と不安定さを覚えます。今後の氏の発表されるマニフェストでの更なる言及を期待します。**岩下氏**については現在はずでに地元住民の対立の構図ではなく大半の住民がダムを望んではおらず、現在のダムに不安を感じている事と河川に大型構造物を望んでいないことを考慮されたいと思います。

賛成、反対については白紙である**蒲島氏**については、白紙である理由として「選挙前に賛否を…」とありますが、選挙前に賛否を明確にし選挙民に判断を委ねる事が責任のある立場であると考えます。又公平な第三者委員会の答申をどのように評価採用されるかわかりずらく、又第三者委員会の設置はいたずらに現地に再度の対立と混乱を引き起こすだけの事と思われ、ダム問題への県民の意識をどのように考えておられるのか疑問であります。

以上